

催吐リスク Moderate

乳, 頸, 卵 CPT100/d1,8,15/c28d 頸, 卵

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)	
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1	
デキサメタゾン	注射	6.6	mg 生食	100 mL	30	1
イリノテカン	100	mg/m2	生食	250 mL	90	1,8,15
				mL		
				mL		
				mL		
				mL		

内服薬

投与基準等

II. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

・ECOG-PS=0-2

・ANC ≥ 1500 , PLAT ≥ 8 万, Hb ≥ 9.0 , T-Bil ≤ 1.5 , AST, ALT $\leq 2 \times \text{ULN}$, Cre $\leq \text{ULN}$

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

Level 1: 20%減量

遷延性の高度血液毒性

Grade 3 以上の非血液毒性

Ⅳ. 重大な副作用 (1991年時点での癌治療学会基準。カッコ内は Grade3 以上の割合)

下痢 67%(16%)、食思不振 83%(23%)、悪心嘔吐 88%(16%)、脱毛 55.3%、腹痛 29%(4%)、腸管麻痺 5%(2%)、肺炎 1%(1%)、AST 上昇 11%(1%)、ALT 上昇 13%(1%)、AST 上昇 22.4%(4.3%)、T-Bil 上昇 3%(0%)、白血球減少 92%(57%)、貧血 78%(26%)、血小板減少 35%(11%)

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

癌と化学療法 1991年 18巻 10号 1681

Gynecol Oncol 2006; 100 : 412
